

日高高校通信特別版【総合的な探究の時間】取組紹介

日高高校では、令和2年度から総合的な探究の時間で国立青少年教育振興機構が主催する地域探究プログラムに取り組んでいます。生徒が地域における課題を設定し、解決のために探究のプロセスを踏まえながら解決方法を考えていく取り組みです。

今年度は「日高の活性化」を大きな課題として定め、AからEまでの5グループが探究課題を設定しました。

その探究課題を元に、情報を収集し、整理・分析・課題解決の方策を探り、最後にまとめて発表します。

来年1月25日（水）に、地域探究プログラムに参加している全道の高校が集まって北海道ステージ発表会を行います。本校からは全5グループが参加し、2月に行われる全国ステージを目指して発表することになります。今後の展開にご期待ください！各グループの活動に関しては以下をご覧ください。



各グループの活動紹介！

Aグループ：星空とあたし～夏のスキー場とキャンプ場を活用した星空観賞～

星空観賞での日高の活性化をテーマにし、「夏のスキー場等の活用」を考えており、実際に7月中旬に日高国際スキー場の山頂まで登り、現地調査をしました。パノラマ小屋までは車で行きましたが、そこから山頂までは車で登れず、徒歩で登頂しました。判明したことは、パノラマ小屋から山頂まで遠くはないものの、かなりの労力が必要で、小さい子どもや高齢者には体力的にきびしいのではないかと、ということでした。また、第4リフトを動かして山頂まで行くことはできないのかを確認するため、日高町役場日高総合支所地域経済課施設管理グループ主幹の福士康弘さんへ取材を行いました。リフトを動かすには様々な課題があるということ、しかし企画に可能性を感じ、星空観賞だけではなく、他の企画と組み合わせるツアーとして考えてはどうかという助言を頂きました。今後の活動としては町外を含めて取材を更に進め、星空観賞の可能性を形にしていきたいと思っています。



Bグループ：SNSでバズれ日高！～日高活性化へ向けての情報発信～

日高町を活性化させる為、日高の知名度の向上を目標にしました。ポスターやチラシ配り等、様々な発信方法がありますが、今の時代TwitterやLINE、InstagramといったSNSを利用する若者が多いことに加え、コロナというご時世なので直接ではなくインターネットなら、より安全で広範囲に伝えることができるのではないかと考えました。その結果、TikTokチームとInstagramチームに分けてそれぞれ日高で撮った写真を集め、動画を作ってSNSに投稿する事にしました。

Instagramのチームはハッシュタグの研究をして、拡散力を高めようとしてきました。Instagramでは30個までハッシュタグを付ける事ができるため、より効果的な物を厳選して投稿します。TikTokのチームでも、綺麗な景色の写真を集め、流行りの音源に乗せて写真を流す事にしました。これからの活動内容としては、日高高校生の日常やスキー授業、日高の特産物を使った料理の食レポ等、様々な内容の動画、画像を投稿してみようと検討しています。



Cグループ：なまら楽しい！日高体験の旅～PR方法の工夫による観光客向上～



日高の自然を生かした釣り・ラフティング・乗馬などの体験ができる活動を考案しています。これまで実際に日高町内の施設に訪問し、私たちが活動している様子を撮影して動画を作成しました。

今後の活動では、今回作成した動画を高校職員や、地域の方々に見てもらって、私たちが企画している体験活動についてのアンケートを取り、体験活動の改善を行い、参加者が楽しんでもらえるような企画を考案していこうと考えています。活動を通して、私たちは日高町には魅力あふれる施設がたくさんあることを改めて知ることが出来ました。

今回知ることが出来た日高町の魅力を私たちが考案した企画を通して町外の人々へ発信していきたいと思えます。

Dグループ：【ひだカレンダー】2023による地域活性化

～日高町を知ってもらい多くの人の心をわしづかみ！～

【ひだカレンダー】による地域活性化です。昨年度の【ひだカレンダー】アンケートに回答された方の平均年齢はかなり高めでした。しかし日高のメジャーなアクティビティとしてはスキーやラフティングなど、どうしても若い人向けのものになっています。

そのため出来るだけ若い人の目にとまりやすいカレンダーを作ろうということになりました。ジョークを交えたキャッチコピーを各月に掲載しました。カレンダーなので、アンケート結果やアドバイスを元に六曜や町内イベント開催時期等も付け足しました。昨年度よりもフォントに力を入れて見やすいカレンダーを制作することができました。カレンダーの他に昨年度と同様にアンケートを制作し、カレンダーとアンケートを日高町や各事業所の協力を頂き施設や商店に配置させていただきました。



今後の展開としては、アンケートを回収しアンケート結果を集計・分析します。

Eグループ：日高高校生によるワークショップの開催～日高に興味を持ってもらう～

私たちは日高町に住んでいるので、日高の良いところはよく知っています。日高に住んでいなかったり、来たことがなかったり、する人は、日高で乗馬やラフティングなどができるという魅力を知らない人もいます。日高地区は地震の揺れに強くて地震が少ないことや、土地の価格が安くとても住みやすいということも魅力だと思っています。これらの魅力を多くの人たちに伝えるためにワークショップをすることにしました。この活動を実現するために私たちは、ワークショップの内容についてのアンケートを町民にお願いしたり、井上牧場さんに取材を行ったり、釣りの実践活動を行ったりしました。



問 日高高等学校 ☎ 01457-2-2626